



樺っ子応援団通信！

R5/8/25 第1号

学校運営協議会って？

学校と地域が力を合わせて学校運営に取り組み、特色ある学校づくりを進めるしくみです。「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条」で、各学校で設置するよう定められています。

将監西小学校の学校運営協議会が「樺っ子応援団」です。現在12名の委員が学校から推薦され、市からの委嘱を受けて活動しています。

学校運営協議会は、委員のみの活動ではなく、地域や保護者の皆さんの協力の下、**地域総ぐるみで子供たちを育てていく**ことが目的です。「樺っ子応援団通信！」では、運営協議会で話し合われたことや皆様に協力していただきたいこと等をアナウンスしていきます。

～令和5年度の取り組みについて～

■第1回（5/30）

～理想の姿『育てたい子ども像』を明確にする～

■第2回（6/28）

- ・西小グランドデザインを共有
- ・学校、地域と協働してどのような子供を育てたいかを出し合う
- ・『育てたい子ども像』を整理、共有（裏面参照）

■第3回（7/28）

～「理想の姿」を実現する取り組みの検討～

- ・やってみたいことの抽出
- ・やってみたいことと理想の姿とのつながりを確認
- ・優先度、実行体制を決める

■第4回（8/29）

～やってみたいことの実行～ →実行内容の振り返り

■第5回以降

- ・第1回の取り組みとして、PTA親父の会（仮称）とのコラボで、「大きもだめし大会」を企画開催。100名以上の参加と10名以上のボランティアが協力。



協議会の体制 ~2023/7/29 (案)~

樗っ子 (西小っ子)

【西小】 校長 教頭 教員 職員

協力量請 (学校側から)

支援提案 (協賛側から)

【樗っ子 応援団】 《活動方針:子供を中心に知覚動考》

団長:学校支援地域本部 (西小笑顔のWA!) 大槻SV

- 各種イベントへのアドバイスをを行い、団長付と共に推進する
- 学校側からの協力量請やお助け隊からの支援/提案を団員と調整する

団長付:教頭/地域連携担当教員

- 団長と共に各種イベントを推進する
- 「親父の会(仮称)」を立上げる

副団長:PTA会長/副会長

- 保護者の参加/協力を促す
- 委員会活動でのお助け隊活用

団員(協議会委員):お助け隊との連絡役

- 団長/副団長からの要請を所属するお助け隊へ展開する
- 所属するお助け隊からの支援を団長/副団長へ提案する

お助け隊(仮称):サポーターやボランティアを派遣する地域団体等

親父の会(仮称) 13丁目町内会 西町内会 南町内会 公団自治会 泉第二幼稚園 将監西児童館 民生児童委員 SBL

学校運営協議会
学校運営や必要な支援に関する協議を行う合議体。イベントの実施案や困り事を協議し解決に導く。

関係者外秘

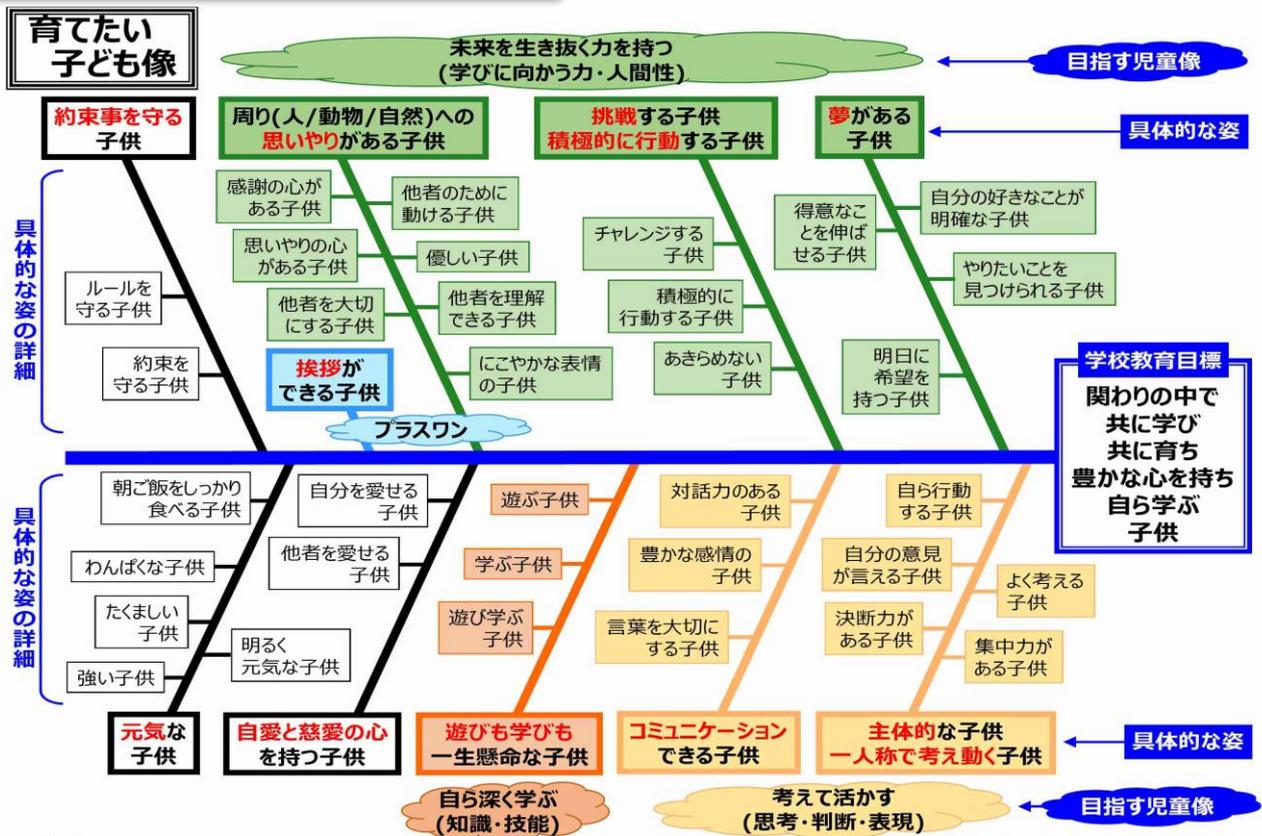
0

©2023 将監西小学校 学校運営協議会【樗っ子応援団】

樗っこ応援団の体制です。学校と運営協議会だけではなく、町内会や児童館、幼稚園をはじめ、地域や保護者の皆様の参加協力をいただきながら、“地域総ぐるみ”で西小の子供たちへ支援やお手伝い、わくわくするイベント等を行っていくことを目指しています。



育てたい子ども像について



上の図は、樗っ子応援団がつくった「育てたい子ども像」のイメージ図（フィッシュボーンチャート）です。右側の“魚の頭”にあたる青四角「関わりの中で 共に学び 共に育ち 豊かな心を持ち 自ら学ぶ子供」を目指して、学校と地域が協働して「取り組み」や「アクション」をどんどん仕掛けていきます。

途中の“小骨”にあたる部分が、学校運営協議会で出された「具体的な姿」で、西小グランドデザインの「目指す児童像」に対応して分類配置されています。今後行われる行事や取り組みは、すべてこのどこかの“小骨”の要素を取り入れたものになります。また、今後、何かのイベントや取り組みを考える際に、「小骨のこの部分を鍛えたいので、こんな取り組みがいいのでは」という活用の仕方でもできます。